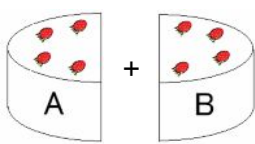
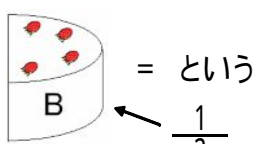


分数のたし算・ひき算を理解するページ

$\frac{1}{2} + \frac{1}{2}$ って、いくつでしょう？ あまり深く考えずに計算すると、 $\frac{2}{4}$ になりそうですね。

これをケーキで例えると  +  = ということです。

つまり正解は、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{2} = \frac{1+1}{2} = \frac{2}{2} = 1$ となります。

分数のたし算・ひき算のコツ

例1. $\frac{2}{7} + \frac{3}{7} = \frac{2+3}{7} = \frac{5}{7}$ ← 分母が同じ数のときは、分子だけのたし算。

$\frac{3}{5} - \frac{2}{5} = \frac{3-2}{5} = \frac{1}{5}$ ← 分母が同じ数のときは、分子だけのひき算。

例2. $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{3}{6} + \frac{2}{6} = \frac{3+2}{6} = \frac{5}{6}$ ← 分母の数がちがうときは、「通分」してから計算しよう。

分子・分母を3倍 (for 1/2) and 分子・分母を2倍 (for 1/3)

例3. $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} = \frac{6}{12} + \frac{4}{12} + \frac{3}{12} = \frac{6+4+3}{12} = \frac{13}{12}$ もしくは $1\frac{1}{12}$

分母の数がちがうときは、「通分」してから計算しよう。

×6 (for 1/2), ×4 (for 1/3), ×3 (for 1/4)

例4. $\frac{1}{3} + \frac{7}{24} = \frac{8}{24} + \frac{7}{24} = \frac{8+7}{24} = \frac{15}{24} = \frac{5}{8}$ 「約分」ができるときは、必ずしましょう。

÷3 (for 15/24)

例5. $0.5 - \frac{1}{6} = \frac{1}{2} - \frac{1}{6} = \frac{3}{6} - \frac{1}{6} = \frac{3-1}{6} = \frac{2}{6} = \frac{1}{3}$

通分のため分子・分母を3倍 (for 1/2)

$\frac{5}{10}$ なので (for 0.5)

約分 (for 2/6)

小数や整数は、分数になおして計算しましょう。